

ひらめき ときめきサイエンス～ようこそ大学の研究室へ～ KAKENHI プログラム概要

研究機関名	大阪信愛学院大学				
プログラム名	超少子化社会からの脱出計画を練ろう ～ライフステージに沿った切れ目ない支援の探究～				
先生(代表者)	渡部昭男(わたなべあきお)・教育学部教育学科・教授				
自己紹介	愛媛生まれ。京都大学・大学院で教育学・発達保障論に出会い、こどもの成長・発達の不思議と面白さを知りました。鳥取大学、神戸大学、大阪信愛学院大学等の卒業生は、こどもに関わった仕事(教職・保育職・福祉職・自治体職員等)で活躍中です。子育て教育の地域共同システムを探究しています。				
開催日・募集対象	2025年9月21日(日)	受講対象者	中学生 高校生	募集人数	20名
集合場所・時間	大阪信愛学院大学(城東学舎/教育学部) 大学1号館・2階B205教室		(集合時間)	12:00～12:30	
開催会場	大阪信愛学院大学(城東学舎/教育学部) 住所:〒536-0001 大阪市城東区古市2-7-30 アクセスマップ URL: https://www.osgu.ac.jp/access/ (「周辺マップ」の青緑色が「城東学舎/教育学部」。東門が最寄り入り口です。)				
内 容					
2008年をピークに日本の人口は減少し続けている。コロナ禍で少子化がさらに進み、合計特殊出生率は2023年「1.20」までに落ち込んだ(お隣の韓国は「0.72」)。人口置き換え水準の出生率は「2.08」前後といわれており、「2.0～1.5」を「緩少子化」、「1.5」未満を「超少子化」という。このまま推移すれば、25年後の2050年台には人口1億人割れさえ予測されている。超少子化は今の中高生が学校をおえて働き、家族を持つであろう将来社会に、様々な影響を与えることになるだろう。 岸田前首相の年頭会見(2023.1)に始まった異次元の少子化対策は、「2030年は少子化対策の分水嶺」「2030年代に入ると我が国の若年人口は現在の倍速で急減」「これからの6～7年が少子化傾向を反転できるかどうかのラストチャンス」との認識の下に、こども未来戦略(2023.12閣議決定)では「ライフステージに沿った切れ目ない支援」を構築する方向性を示した。国の政策は進んでいるのだろうか。都道府県や市町村も懸命に取り組みを進めている。どのような自治体施策が打たれているのだろうか。 新著『「こども計画」に活かせる自治体総合施策 221例』(写真、2024.12日本標準/受講生全員に謹呈)で用いた分析手法(国の政策分析・自治体の施策分析)の面白さを伝えながら、全国の中高生とともに超少子化社会からの脱出計画を一緒に練り上げたい。総合的な学習の時間(中)や総合的な探究の時間(高)で培ったセンスやICT学習法を活かして、超少子化社会を科学してみませんか。					
持ち物		特記事項			
・筆記用具 ・インターネット検索ができるICT		○室内実施ですが、熱中症対策として飲み物をご用意下さい。 ○受講者に昼軽食(希望者)とおやつ(全員)を用意します。			



機器(タブレット、PC、スマホなど)	○インターネットへの接続は用意したWiFi機器で接続しますので個人課金はありません。 ○修了後に名前入りの「未来博士号」を授与します。 ○保護者等が付添う場合のために、休憩室を用意しています。 ○9/21(日)午前に大阪信愛学院大学オープンキャンパス 2025 が開催されます。教育学部OCの体験授業は渡部昭男「赤ちゃんの月齢をあてる眼力を身につけよう」です。こどもの成長・発達に興味のある方はどうぞ聴講して下さい。 OC案内 https://www.osqu.ac.jp/admissions/opencampus/
スケジュール	
事前準備: 演習内容を簡潔に伝えるPPTスライドのテキストを事前配信、ワークショップのグループ希望などの調査と調整、軽食希望及びおやつを含めたアレルギー等への配慮の確認	
9月21日当日	
【受付／開講式】	
12:00～12:30 受付(集合場所:大阪信愛学院・大学1号館・2階B205室)(希望者に軽食提供)	
12:30～12:40 開講式:趣旨及び科研費の説明、感染防止策・地震対応等の説明、配布物の確認	
【演習】参加者全員に向けた各講師のミニ演習	
○セッション1:日本と韓国の政策分析:超少子化の日本と韓国の現状と課題を探ろう	
12:40～13:00 演習 [渡部昭男]日本:超少子化・人口減少社会の予測とこども未来戦略(国会会議録検索)	
13:00～13:20 演習 [多胡太佑／尹太佑(ユン・テウ)]韓国:学校生活と無償教育(学校アリミ検索) [翻訳ソフトや ChatGPT も使って韓国語と日本語のバイリンガル検索に挑戦]	
*小休憩 10分	
○セッション2:自治体の施策分析:ライフステージに沿った切れ目ない支援を探ろう	
13:30～13:50 演習 [渡部(君和田)容子]妊娠出産から乳幼児期の支援を探る(自治体情報検索)	
13:50～14:10 演習 [國本真吾]学齢期から高校生・大学生の支援を探る(自治体情報検索)	
14:10～14:30 演習 [近藤剛]学校外活動の現状と課題:体験格差を探る(自治体情報検索)	
【ワークショップ】5グループ(中高生数名、各講師、補助学生)に分かれての探究活動	
14:30～14:50 もぐもぐタイム(おやつを食べながら各グループで自己紹介)	
14:50～15:50 探究活動	
*小休憩 5分	
【意見発表・討論／修了式】	
15:55～16:35 意見発表・討論	
16:35～16:45 修了式(講評)、記念撮影	
16:45 終了・解散	
事後活動: 名前入りの「未来博士号」及び記念写真の配信、感想カード・評価アンケートの回収	

課題番号	25HT0137	分野	社会・人文	キーワード	超少子化・人口減少、こども未来戦略、国会審議、自治体施策、ライフステージに沿った切れ目ない支援
------	----------	----	-------	-------	---

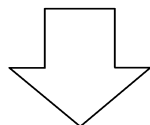
《お問合せ・お申込先》

所属・氏名	大阪信愛学院大学・渡部昭男
住 所	大阪市城東区古市2丁目7番30号
T E L 番 号	06-6939-4391 (内2508)
E - m a i l	watanabea@osaka-shinai.ac.jp
申込締切日	2025年9月16日(火)

当プログラムは先着順にて受付を行います。

《プログラムと関係する先生（実施代表者）の科研費》

研究期間	研究種目	課題番号	研究課題名
2022年度 ~ 2025年度	基盤研究(C) (一般)	22K02702	コロナ禍における高等教育の経済的負担軽減及び修学支援に係る日韓比較研究
2019年度 ~ 2022年度	基盤研究(C) (一般)	19K02864	高等教育における経済的負担軽減及び修学支援に係る法・制度・行財政の日韓比較研究
2015年度 ~ 2017年度	基盤研究(B) (一般)	15H03474	後期中等・高等教育における「無償教育の漸進的導入」の原理と具体策に係る総合的研究



この科研費について、さらに詳しく知りたい方は、下記をクリック！

<https://nrid.nii.ac.jp/ja/nrid/1000020158611>

国立情報学研究所の科研費データベースへリンクします。